

JA新潟中央会主催 第31回「私たちと農業・JA意見文」 2名入賞、表彰式に出席しました！

JA意見文の応募・審査概要

今年度も農業や食料、地域、環境、JAなどについて考え、高校生が提言する意見文が寄せられました。この高校生の意見文のコンテストの歴史は長く、今年で31回を数えます。

新潟県内の高校7校から延べ867点の応募があり、校内予選を通過した44点から、最終第2次審査に意見文16点が進みました。

審査結果と表彰式

2月3日（金）に、JA新潟中央会主催第31回「私たちと農業・JA意見文」の表彰式が、新潟市西蒲区のJA新潟教育センターで行われました。

審査の結果、下記のとおり生物資源科3年農業生産コースの岡庭希実さんが優秀賞、同じく丸山里菜さんが努力賞を受賞しました。おめでとうございます。



審査結果

優秀賞 岡庭 希実 さん「持続可能を目指して」

努力賞 丸山 里菜 さん「農業の問題について」

優秀賞を受賞した岡庭さんの意見文は、所属する農業生産コースでの日ごろの取り組みが、SDGsのどの項目に当てはまるのかを自ら検証し、これらの活動が私たちの生活や未来を守ることに繋がると意見しています。これからもSDGsに貢献できるように努力していきたいと前向きな意見を発信しています。

努力賞を受賞した丸山さんの意見文は、日本の農業の問題を考え、高齢化や若者の就農などの課題を解決するためにどのようにしたらよいか提言しています。課題研究で近隣のこども園との農業体験交流や食農教育活動を通じて、子どもたちに農業や食に対して関心を高めてほしいと取り組んでいる内容を発信しています。

